

宝井 其角(たからい きかく)

資 料

短冊『猫にとられしを 馬竈乃妻はすだくらん 其角』

\*「猫にくわれしを こおろぎの妻は すだくらん」(五元集所収)

作 者

1661(寛文元). 7. 17-1707(宝永4). 2. 30

江戸(東京都)生まれ。

松尾芭蕉の高弟で、蕉門十哲の一人。延宝のころ芭蕉に入門する。元禄7年、芭蕉の病死后には追善集「枯尾花」を刊行する。その作風は洒落風といわれ江戸座を開く。

参考文献

『宝井其角全集(全4)』(石川八朗／他共編 勉誠社 1994. 2 [県立 911. 33/110/1-4])

『芭蕉と其角』(香西照雄／著 明治書院 1989. 6 [県立 911. 32X/138(20108403)])

『元禄俳人宝井其角』(今泉準一／著 桜楓社 1969 [県立 911. 33/13(11949823)])

